

科目コード			開講期	前期
専修	社会学			
講義別	特殊講義		毎週時間	2
担当者 (職名・氏名)	経済学研究 科・教授	若林直樹	単位	2
			曜時限	火・3
			教室	法経第五教室
題目	日本企業の組織と行動			
授業計画と 内容	<p>(1) 内容</p> <p>日本企業は、組織として活動している。その組織行動を考えていく上では、組織のメカニズムを理解する必要があり、組織社会学を含めた組織論は、組織行動についての基本的な社会的な分析を提供しようとするものである。さらに、日本企業は、グローバル化、情報化、高齢化という経営環境変化で、組織自体も大きく変容しつつある。組織とは、専門的には、企業という人的組織の協働活動システムとしてみる見方であるが、日本企業の意味決定、知識管理、イノベーションなどの活動での人的組織としての合理的な特性を明らかにしてくれる。この授業では、特に企業組織についてその全体構造や企業間ネットワークというマクロな次元に焦点を絞り、経営環境と組織構造の相互作用、官僚制組織とネットワーク組織、イノベーションと学習を行う組織能力、日本的経営の組織特性などについてふれて行きたい。</p> <p>(2) 目次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 組織論の視点 2. 経営環境と組織構造のデザイン 3. 官僚制組織とネットワーク組織 4. イノベーションと組織学習を行う組織能力 5. 戦略的な組織変革 6. 日本的経営の組織特性と現代の経営環境 			
テキスト・ 参考文献	リチャード・L・ダフト『組織の経営学』ダイヤモンド社、2002年 若林直樹『ネットワーク組織論』有斐閣、2009年。			
成績評価 方法・備考	中間レポートと定期試験			